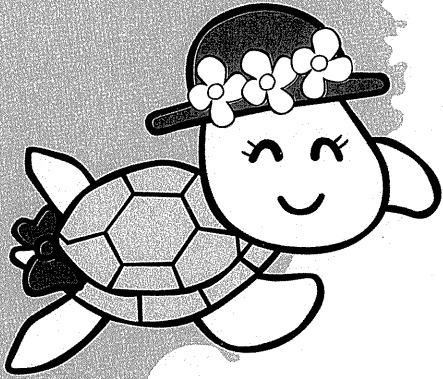


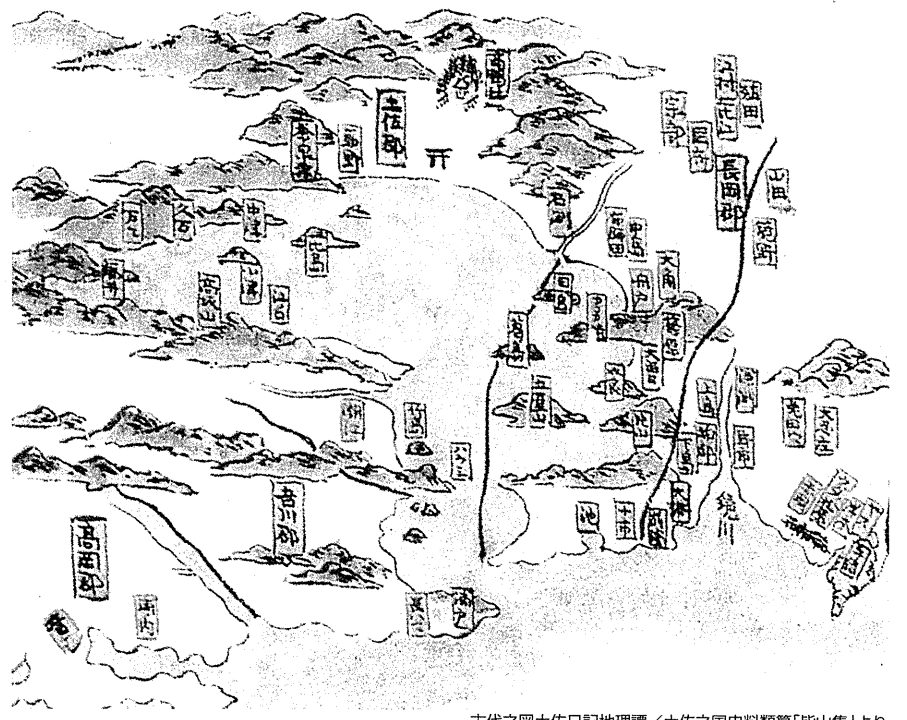
# 高知海岸



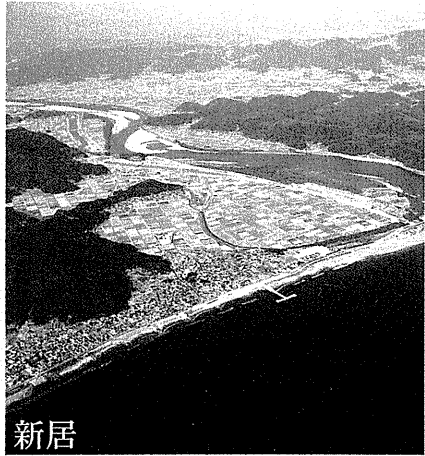
古代之國 土佐日記地理辨  
 土佐國ノ國ヲ界シ土佐郡  
 土佐郡ノ界ヲ界シ土佐郡  
 土佐郡ノ界ヲ界シ土佐郡  
 土佐郡ノ界ヲ界シ土佐郡



国土交通省四国地方整備局  
**高知河川国道事務所**  
 〒780-8023 高知県高知市六泉寺町96-7  
 TEL(088)833-0111(代)  
<http://www.skr.mlit.go.jp/kochi/index.html>  
**高知海岸出張所**  
 〒781-0315 高知市春野町東諸木1298-1  
 TEL(088)848-0038



古代之國土佐日記地理辨／土佐之國史料類纂「昔山集」より



新居



仁ノ



戸原



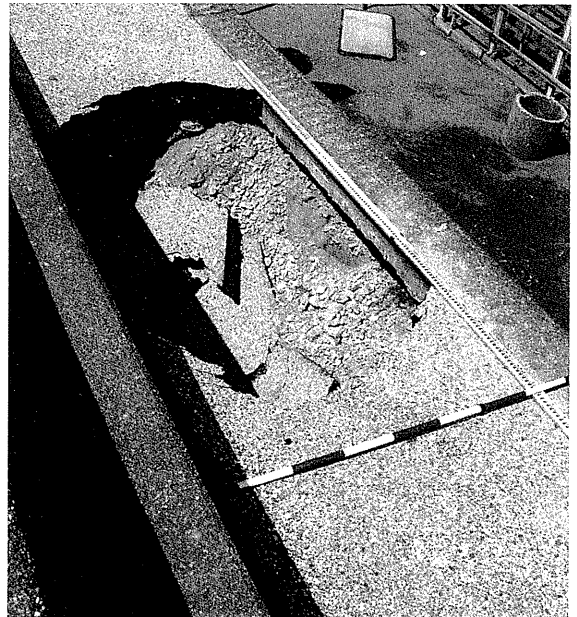
長浜

# 災害

高知県は、全国的にも有名な台風常襲県であり、沿岸部では古くから台風による高潮、地震による津波等により被害を繰り返し受けています。



□平成16年8月 台風16号仁ノ海岸越波状況



□平成17年9月 台風14号十市堤防背面陥没

年月日	原因	被災状況
宝永 4.10. 4 (1707)	南海道沖大地震 (M 8.4)	当時としては未曾有の震災であり、「愛宕山の麓にて鱒、鱸、王余魚(かれいの類)などとおびただしく取し」と記録にあるように、大規模な津波に襲われた。その被害は流家11,170戸、潰家4,866戸、被損1,742戸、死者1,844人(男561、女1,283)、傷者926人(男809、女117)となっている。
安政 1.11. 5 (1854)	南海道沖大地震 (M 8.4)	津波の規模は宝永大地震をやや下まわる程度であり、その被害は死者372人(男96、女276)、怪我人180人(男73、女107)、流失3,182戸、潰家3,030戸、半潰9,142戸となっている。
昭和21.12.21	南海道沖大地震 (M 8.1)	地震による津波の被害は地震そのものによるものよりも大きかった。波高は高知県の沿岸で4~6mに達した。県下の被害は、流失家屋566戸、浸水家屋5,608戸、浸水田畑3,030町歩、流失船舶816隻、死者(地震を含む)679人、傷者1,836人となっている。
昭和35. 5.23	チリ沖地震	地震の翌日から津波が日本各地に押し寄せ、多大な被害を出した。高知県の被害は、負傷者1人、建物全壊7戸、半壊38戸、流失2戸、床上浸水619戸、船舶沈没6隻、流失21隻、破損24隻となっている。
昭和45. 8.21	台風10号	土佐湾一帯に激甚な高潮災害をもたらし、その被害は、死者12人、不明者1人、傷者491人、建物全壊1,135戸、半壊17,627戸、床上浸水5,376戸、床下浸水12,907戸等となっている。直轄区間では、久枝地先において越波した海水により天端および裏護岸が破堤した。また、前浜地先でも天端舗装が破壊したほか、十市~仁井田地先にかけてもパラペット及び天端舗装が破壊した。
昭和49. 8.18 ~ 9. 1	台風14号 及び 台風16号	人的災害や人家の流失等はなかったが、久枝地先においては堤体前面の前浜の洗掘により堤防が295mにわたり倒壊した。また、背後地のビニールハウス群を中心に農地の流失や約4haにおよび冠水があった。
昭和54. 9.30	台風16号	台風11号(8月16日発生)、台風12号(9月2日発生)による前浜侵食につづいて、台風16号の来襲によりさらに侵食を受けた仁井田地先の堤防が219mにわたり倒壊した。
平成 3. 7.29	台風9号	台風9号(7月25日発生)と台風19号により、長浜地先において、海岸堤破堤及び陥没を含む延長が176mと、前浜の洗掘区間1,615mが被災した。
平成 5. 8. 8	台風7号	台風7号により、戸原地先において、堤防前面洗掘区間110mにつづいて、台風19号により堤防前面洗掘区間180mとなり、堤防110m(うち堤防決壊70m)が被災した。
平成13. 8.21	台風11号	台風11号により、仁ノ地先において消波工450mが3~4m沈下し、堤防護岸が100m崩壊した。
平成14.10.14	台風22号	台風22号により、高知市長浜工区において擁壁の崩壊及びブロックの沈下により134mが被災した。春野町仁ノ工区において擁壁の一部の崩壊、砂浜侵食が170mに及んだ。
平成16.10.20	台風23号	台風23号により、室戸市室戸岬高浜地区において高波が発生し、防潮堤の一部が高さ1.5m、長さ30mにわたり損壊。損壊した防潮堤のコンクリート塊の一部が北側の集合住宅を直撃し、防潮堤の損壊箇所からは大量の海水・流木が住宅地に流れ込み、死者3名、重傷者2名、軽傷者2名、住宅5棟が全壊、3棟が半壊、一部破損4棟、床上浸水6棟、床下浸水3棟の被害をもたらした。
平成17. 9. 6	台風14号	台風14号により、南国市十市工区において堤防天端の陥没、消波根固めブロック、離岸堤の消波ブロックの沈下が発生し、高知市長浜工区において消波ブロックの沈下、戸原工区においては5号突堤先端部において基礎捨石の流出による被害が発生した。
平成19. 7.14	台風4号	台風4号により、南国工区の緩傾斜堤防の間詰流出による緩傾斜堤防の一部被災、波浪洗掘による離岸堤3基のブロック沈下、波浪洗掘による人工リーフ標識灯の傾斜被害が発生した。